

2人の新規就農者に青年就農給付金



▲西村市長から交付状を受け取った板井さん(左)と高見さん

新規に就農した若者に国が年間150万円を助成する「青年就農給付金」を、板井雅志さん(網引町)と高見大樹さん(河内町)に交付することが決まりました。県内で初めての交付です。

白菜やトマトを生産する板井さんは「今年はハウスなどの土台作りをして、来年以降、野菜で頑張りたい」、ポインセチアなど花を栽培する高見さんは「少数多量をめざし、高く売れる物を作りたい」と意気込みを語りました。

北条高校生がタイで国際交流



▲市長、副市長らにタイでの新たな発見や習慣の違いを報告する北条高生

言語や文化の違いを学び交流を深めようと、7月27日から8月5日の10日間、北条高生5人がタイを訪れ、現地の高校生と一っしょに日本語の授業を受けたり、ホームステイをしたりしました。

9月6日、西村市長に「2,3日すると、タイ語が通じるようになり、信頼関係が深まった」「町並みなども日本と違い、新しい発見ばかりだった。自分の考え方が大きく変わった」などと活動内容を報告しました。

いつまでもお元気で！長寿をお祝い



▲西村市長の訪問に笑顔で話される上村さん

8月29日、西村市長が市内にお住まいの最高齢の上村はつさん(105歳・第二サルビア荘)を表敬訪問し、多年にわたり社会の発展に寄与されたことを感謝するとともに、長寿をお祝いました。

上村さんは「長生きできているのは、6人のよい子どもに恵まれたおかげ。3食しっかり食べて、たくさんの人と話をすること」と元気に長寿の秘訣を語られました。

見たことのない農機具で米の収穫体験



▲西笠原町営農組合員に唐箕(とうみ)の使い方を教わる児童

下里小学校の3年生34人は、体験学習の一環として9月12日、西笠原町営農組合の協力のもと、同倉庫で米の収穫体験を行いました。

児童は足踏式脱穀機を使ったり、唐箕で籾とわらくず等を選別することなどを学びました。

初めての体験に必死で取り組み「脱穀機の歯を回して稲から米がとれるのが楽しかった」「こんな機械で米が収穫できるのにびっくりした」と話していました。

自然の不思議を体験「杉の皮むき・里山体験」



▲道具を使わずに杉の皮をむく子どもたち

加西市とイオン加西北条店チアーズクラブは9月1日、地域の生物多様性を学ぼうと、オークタウン加西で里山体験イベントを開催しました。

参加した同クラブの親子20人は、夏場の杉は成長のために水分を多く含み、皮が簡単にむける性質を生かし、素手でむいた白木を使いハンガースタンドを作りました。

参加者は「簡単に杉の皮がむけて驚いた」などと、自然の不思議に感動していました。

大きいぶどうにビックリ「ぶどう狩り体験」



▲播磨農業高校と一っしょにぶどう狩りを体験する園児

播磨農業高校の生徒が園児の食育をテーマに9月12日、収穫体験学習を行いました。竹チップを堆肥として土作りを行い栽培したマスカットベリーAを、愛の光幼稚園の園児34人に味わってもらいました。

園児は生徒に抱きかかえられながら、はさみを使って収穫し「こんな大きいぶどうは見たことない」「今まで食べたぶどうの中で1番甘かった」などと、獲れたての味を楽しみました。

「不法投棄・ポイ捨て禁止ポスター」優秀作品が決定



▲アステリアかさいで、市内小学4～6年生から応募のあった214点を掲示(9/14～28)。優秀賞15点、佳作14点。

加西市は環境への意識を高めてもらおうと、不法投棄・ポイ捨て禁止ポスターを募集しました。優秀賞の皆さんは次のとおりです。

北条 千葉桃乃(4)、東出天舞音(5) **北条東** 柏木愛海(4)、谷田優(6)、戸井謙士郎(6) **富田** 山下ももこ(4)、小林みなみ(5) **賀茂** 本多礼佳(4) **九会** 三宅康介(5)、橋爪清杏(6)、常峰あい子(6) **宇仁** 織田陽菜(4) **泉** 大槻真桜子(5)、甘中詩乃(6)、井川夏実(6)

敬老月間「ふるさと芸能大会」を開催



▲介護予防のための「いきいきサルビア体操」をする参加者

加西市と市老人クラブ連合会は、9月1日から8日まで健康福祉会館で、高齢者間の交流や自らの健康保持と増進を図るため「敬老月間ふるさと芸能大会」を開催しました。

参加した延べ約3,000人のお年寄り、いきいきサルビア体操をした後、市芸能協会による踊りや太鼓演奏、プロ歌手の浪曲・歌謡ショーを観賞するなどして楽しみ交流を深めました。